5．たな卸資産の評価基準及び評価方法
⑴　仕掛品
個別法によっております。
⑵　貯蔵品
最終仕入原価法によっております。
6．外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準
外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
7．行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法
⑴　国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用
無償使用している財産については、減価償却費相当額を計上しております。
⑵　政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の平成25年３月末利回りを参考に0.560%で計算しております。
8．リース取引の処理方法
リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
なお、ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は、2,764,621円であり、当該影響額を除いた当期総利益は、994,557,239円であります。
9．消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理については、税込方式によっております。

Ⅱ．貸借対照表

1．運営費交付金で充当されるべき退職手当の見積額　4,527,747,002円
2．当期の運営費交付金により財源措置が手当されない引当外賞与見積額　255,586,238円
3．繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳
流動資産

税務上の繰越欠損金	1,709,636円
合計	1,709,636円

4．資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの
⑴　当該資産除去債務の概要
当法人においては、所有する建物に係る建設リサイクル法に基づく処分費用及び不動産賃借契約における賃借期間終了時の原状回復義務に関し、資産除去債務を計上しております。
⑵　当該資産除去債務の金額の算定方法
所有する建物については、耐用年数を50年、割引率は2.484%から2.606%を採用しております。また、不動産の賃借については、使用見込期間を15年から50年、割引率は1.876%から2.548%を採用しております。
⑶　当期における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	78,997,134円
当期増加額	278,669,057円
当期減少額	0円
期末残高	357,666,191円

5．減損処理
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要

場所	用途	種類	減損前帳簿価額	減損額
東京都小金井市	空調設備等	機械及び装置 附属設備	309,531円 7,674,682円	309,530円 7,674,678円
	実験室等	構築物 附属設備	382,550円 10,705,849円	382,548円 10,705,836円
	実験装置等	工具器具備品	574,210円	574,208円
	電気設備等	附属設備	1,693,000円	1,692,998円
	設計	建設仮勘定	1,879,500円	1,879,500円
茨城県鹿嶋市	実験装置等	工具器具備品	1,347,485円	1,347,482円
京都府精華町	実験室等	構築物 附属設備	631,760円 58,614,376円	631,759円 58,614,362円
	実験装置等	工具器具備品	1,955,521円	1,955,512円
	電気設備等	附属設備	15,661,812円	15,661,808円
合計			101,430,276円	101,430,221円

⑵　減損の認識に到った経緯
全て資産の全部を使用しないという決定を行なったため減損を認識しております。
⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額及び計上しなかった金額
ア　損益計算書に計上した金額　1,744,076円
イ　損益外減損損失累計額　836,470円
ウ　資産見返負債の減少額　98,849,675円
⑷　回収可能サービス価額の算定方法
全て備忘価格としております。

Ⅲ．損益計算書

＊1．研究業務費　人件費の内訳

役員報酬	39,938,242円
給与	4,524,068,402円
退職手当	239,606,738円
共済掛金	332,802,892円
法定福利費	330,735,396円

＊2．その他の研究業務費のうち主要な費目及び金額

委託料	10,961,692,696円
資材消耗品費	1,324,416,909円
通信運搬費	1,124,571,669円

＊3．民間基盤技術研究促進業務費
その他の業務費のうち主要な費目及び金額

委託料	11,225,593円
雑費	1,876,154円

第明治三十二種郵便物認可　三十五年三月三十一日